

2014年度 成果概要①

「仏教・浄土教を機軸としたグリーフサポートと救済観の総合的研究」

Research on Grief Support and Salvation based on Pure Land

Buddhism Thought

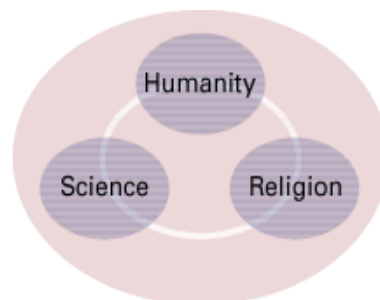


龍谷大学 人間・科学・宗教オープンリサーチセンター長  
鍋島直樹

## ■龍谷大学 人間・科学・宗教オープンリサーチセンターの目的・意義

龍谷大学は建学の精神に基づき、生きとし生けるもの全てを迷いから悟りに転換させたいという阿弥陀仏の誓願を依りどころとし、その願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間育成をめざしている。そのために「人間・科学・宗教」の三領域が融合する新たな知の創造に努め、平等、自立、内省、感謝、平和に結びつく研究に取り組んでいる。人間・科学・宗教オープンリサーチセンター（Center for Humanities, Science and Religion 略称 CHSR）は、それを具現化するセンターとして、2002年4月に設立され、諸科学との対話を通じて、生死の危機を超える智慧と慈しみを培い、仏教の救済観の意義を生かした研究をめざしている。

「人間・科学・宗教」の三領域の連携による学際的研究と新たな知の創出 20世紀における「科学」的成果は高度な文明を生み出し、世界の経済的発展に多大な貢献を果たした。しかし一方で、人類は利潤追求に翻弄され、生命の尊重と平和を求める人類の願いに逆行し、地球環境も壊す結果を生み出した。そこで死の無覚と科学の独走をふりかえり、人間・科学・宗教の三領域が映徹しあい、仏教の縁起説や死生観を鑑とし、人間とすべてのいのちが平等に生かされる共生の世界を構築することを、この研究センターの目的・意義とする。



人間・科学・宗教オープンリサーチセンター研究プロジェクトの歩み

2002年度～2006年度

文部科学省私立大学高度化推進事業「仏教生命観に基づく人間科学の総合研究」

2007年度～2009年度 継続

文部科学省私立大学高度化推進事業「仏教生命観に基づく人間科学の総合研究」

2010年度～2012年度

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「死生観と超越 仏教と諸科学の学際的研究」

2013年度～2015年度 龍谷大学選定研究プロジェクト

「仏教・浄土教を機軸としたグリーフサポートと救済観の総合的研究」